

# 平成17年度 検討結果報告書

---

高知グリーン購入推進検討委員会

# ① グリーン購入の基準について

## グリーン購入の基準(その1)

- ・民間各社や行政も採用している以下3つを基準として採用

基準名	特 徴
グリーン購入法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成12年5月に循環型社会形成推進基本法の個別法のひとつとして国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法)が制定された</li> <li>・グリーン購入法に適合している商品を特定調達物品(判断基準に対応する物品)としている</li> </ul>
エコマーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(財)日本環境協会が事業を実施</li> <li>・ISO14020およびISO14024に則って運営</li> <li>・産業界・消費者・学識者などの代表からなる「エコマーク類型・基準制定委員会」において対象となる商品類型を選定</li> <li>・商品カテゴリー(類型)ごとに定められた認定基準を満たし、エコマーク審査委員会での認定を受けた上で商品ごとに(財)日本環境協会との間でエコマーク使用契約を締結</li> </ul>
GPNデータベース	<ul style="list-style-type: none"> <li>・GPN(グリーン購入ネットワーク)とは、グリーン購入の取り組みを促進するために1996年に設立された企業・行政・消費者の緩やかなネットワーク(全国の多種多様な企業や団体が同じ購入者の立場で参加)</li> <li>・GPNでは、グリーン購入の普及啓発、事例の表彰・紹介、購入ガイドラインの策定、環境配慮商品のデータベースづくり等に取り組んでいる</li> <li>・グリーン購入基本原則に基づいて商品分野ごとに策定した購入指針(ガイドライン)をもとに、商品の環境情報をデータシート形式で掲載</li> </ul>

## ② グリーン購入の基準について

### グリーン購入の基準(その2)

- ・(その1)に付け加え、現在エコデザイン協議会が実施している『リサイクル認定商品』など、県も認める環境優良(配慮)商品については、グリーン購入対象商品として適宜認定を検討する
- ・上記商品については、最終的にはエコマーク取得を推進する

### ③ グリーン購入ポータルサイトへの参入基準について

#### 参入事業者の基準

- ・県内業者が自由競争の中で競う分については、新規参入があってもよい
- ・地元への経済波及効果に留意すること
- ・インターネット及びFAXによる取引が可能であること
- ・安価にグリーン購入対象商品が提供できること



県内事業者であること(支店または本店が高知県内に存在すること)

グリーン購入専用の窓口をインターネット上で有すること(取引については、FAXによる注文も可能であること)

地元への利益還元ができること(環境貢献活動への寄付的還元、地元商品の販売等)

## ④ グリーン購入ポータルサイトの利用の促進について

### 利用促進の手段

- ・県内産グリーン商品の販路拡大につなげる
- ・エコマーク取得等により、全国販売への足がかりとする
  - 県内生産業者への参画呼びかけ
- ・安く、便利なグリーン購入を実施
  - 利用者の多くは環境貢献より価格を重視
  - ISO14000取得企業や行政では、グリーン購入の集計作業が繁雑なので、それへの対応を実施(購入データの提供等)
  - インターネットによるメリットを強調(ペーパーレス、24時間受付、記録の保存等)

## 5 行政への提言

### グリーン購入推進に関する行政への提言

- ・グリーン購入に関する取り組みを条例化して、目標を設定する
  - 森林環境税(企業版)との連携検討
  - 市町村のグリーン購入取り組み状況についての情報開示
  - 取り組みが進んでいる市町村・企業・団体を表彰
- ・高知県が実施する補助事業等において、印刷や、事務用品類に係るグリーン調達の実施状況について、県が一定チェックする仕組みを検討
- ・グリーン購入に関する県内企業・団体への普及啓発については、今後、行政と協力体制を築きながら推進する
- ・グリーン購入に関する具体的な数値目標等を設定し、市町村等とも連携する中で、条例化などの制度整備を検討する